

子どもを対象とした農林漁家宿泊体験による 農山漁村振興の実態と課題

目 次

はしがき	i
序 章 研究の課題と背景	1
1. 研究の目的と課題	1
2. 本報告書の構成	1
3. 「子ども農山漁村交流プロジェクトに関する事業」の概要	2
(1) 事業成立の経緯	2
(2) 事業内容	4
(3) 関連事業・制度の仕組み	4
4. 子どもプロジェクトの目的と位置づけ	8
第1章 教育旅行における体験活動の経緯と現状	11
1. 教育旅行の目的の変化と体験学習の広まり	11
2. 修学旅行の実施概況	12
(1) 実施時期	12
(2) 宿泊泊数	13
(3) 宿泊施設の種別	14
(4) 修学旅行の実施内容・体験内容	14
第2章 宿泊体験活動の実態分析	18
1. 課題と方法	18
(1) 本章の課題と調査の目的	18
(2) 調査設計と方法	18
2. 調査結果にみる農林漁家宿泊体験の実態	19
(1) 調査結果の概況	19
(2) 業態別にみる農林水産物販売額・作目	20
(3) 受入開始時期	21
(4) 受入開始年別にみる受入のきっかけ・目的	21

(5) 農林漁家宿泊体験の月別受入状況に関する分析	23
(6) 今後の宿泊体験に関する取組意向	24
(7) 農林漁家宿泊体験の実態に関する小括	25
3. 宿泊体験活動による地域への波及効果	26
(1) 小学生の宿泊体験に伴う料金収入	26
(2) 農林漁家にとっての収入の評価	27
(3) 地域における雇用等の労働需要創出効果	28
(4) 受入を契機とした農林水産物の販路や直接販売収入等の拡大効果	30
(5) 子どもプロジェクト受入の経済波及効果	31
(6) 農山漁村の経済効果に関する小括	31
4. 宿泊体験活動による地域活動等への影響	32
(1) 子ども宿泊体験への郷土料理の活用	33
(2) 地域の行事の活性化	33
(3) 地域内の寄り合い活動や交流施設の活用度の変化	34
(4) 地域活動への波及効果に関する小括	36
 第3章 教育的観点からみた子ども宿泊体験活動の効果分析	 38
1. 教育的観点から宿泊体験活動を分析する意義と課題	38
2. 調査方法と結果概要	39
3. 宿泊体験に対する学校側の評価	39
(1) 評価の方法	39
(2) 学校側の評価にみる宿泊体験事業の検証	42
4. 考察と今後の課題	45
 第4章 研究成果のとりまとめと今後の課題・展望	 48
1. 子どもプロジェクトの政策的な位置づけ	48
2. 子どもにとっての宿泊体験の重要性	49
3. 農村にとっての宿泊体験の効果	50
4. 残された課題	52
 引用・参考文献	 54
 新聞報道、講演等に関わる記録	 56

〔巻末参考資料〕

1. 「都市と農山漁村の共生・対流の一層の推進に向けた府省連携の今後の対応方向 について」(抜粋) (都市と農山漁村の共生・対流に関するプロジェクトチーム、2007年6月)	59
2. 食料・農業・農村基本計画(抜粋)(農林水産省、2010年3月30日閣議決定)	61
3. 教育振興基本計画(抜粋)(文部科学省、2008年7月1日閣議決定)	62
4. 小学校学習指導要領(抜粋)(文部科学省告示第27号、2008年3月28日)	63
5. 子ども農山漁村交流プロジェクト対策交付金実施要綱(抜粋) (農林水産省事務次官通知、2010年4月)	64
6. 子ども農山漁村交流プロジェクトの予算措置の変遷と現在の仕組み	65
7. 豊かな体験活動推進事業委託要項(抜粋) (文部科学省初等中等教育局長改訂、2008年4月1日)	66
8. 豊かな体験活動推進事業実施要領(抜粋) (文部科学省初等中等教育局児童生徒課、2008年4月1日一部改正)	68
9. 豊かな体験活動推進事業実施要領(抜粋) (生涯学習政策局長・初等中等教育局長裁定、2010年3月31日)	70
10. 豊かな体験活動推進事業の予算措置の変遷	72

〔執筆分担〕

序 章 鈴村源太郎・馬場範雪

第 1 ～ 4 章 鈴村源太郎